

人が育つ、それが
まちの財産に成る。

共創デザインスタジオ ヒトカラ～hitocolor～イナン

次代の飯南町を創る人たちが集い、新たな価値を生み出す舞台。交流・対話を深める中で、多様な社会課題に柔軟に対応できる考え方のプロセスを学び、実践に必要な対話力・解釈力を身に付けていく連続講座。

参加者の声

第1期生
田邊郁也さん
役場産業振興課



「人づくり」って何なのかを知りたくて参加しました。正直初めは不安な部分もありました。熱量の高い人たちの中で、どっちかという熱の低い自分が本当にやっていけるのかと。でも、そういう人たちといると、自分の熱も自然と上がっていくんですね。参加してみると案外心地いい空間でした。

講師の山口さんや参加者の話を聞いて、自分にない考え方を知れたことが単純に楽しかったです。特に「たった1人を泣いて喜ばせる」という考え方。たった1人を喜ばせられないのに、10人、ましてやまちの人たちを喜ばせられないですもんね。でも講座に参加しただけじゃ力は身に付かない。結局は実践しないと。だから、いかに小さく始めるかが本当に大切だと思います。

僕は「TEAM下来島」に所属しています。自分たちが楽しみながら下来島を盛り上げるために始めた組織です。そんな自分たちの姿を、地域の子どもたちが見て一緒に盛り上がっている。まちのためではなく、いかに自分が楽しむか。

今では、楽しんでいる僕の背中を次の世代に見せることが人づくり、そしてまちづくりだと確信しています。

第2期生
岡田かおるさん
(株)あゆみ



第1期のヒトカラココカラ会議に参加して、トークフォークダンスがめちゃめちゃ楽しかったんです。安心して何でも話せる、多様性が許される。そういう場所だなあと感じました。そしてこのまちに若い人がこんなにいるんだという発見も。

2期生として講座に参加してみると、やっぱり心地よかったです。いつも真っ先に喋りだす私が学んだもの、それは「聴く姿勢」でした。聴いてくれる人がいて初めて話せますもんね。いつも話を聞いてもらえる私は幸せものだったんだと改めて気付きました。聴く姿勢が身に付くと、自分と違う価値観に出会うことが楽しくなってきて、人との出会いもだんだん増えてきました。そして何気ないことから話が弾んで、体が勝手に動いていたということもあったり。

いろんな価値観に出会えば会うほど、自分一人では考えもしなかったことが起こる。これが対話の力なんですかね。行政との距離が近いのも飯南町の良いところ。

だから今はワクワクしています。楽しいところに人は集まるんです。そして人の気持ちが動く時、そこには必ず人がいる。まさにヒトカラですね。

講師

山口 覚さん
津屋崎ランチLLP



東京の大企業に勤めていたが、自ら地方に身を置いて活動しよう九州へUターン。2009年に福岡県福津市津屋崎に移住し「津屋崎ランチ」を開業。空き家保存・活用、ゲストハウス旧河野邸運営、意味の学校立ち上げ、プチ起業塾開催で、東京などから200人以上の移住者呼び寄せ。

また、対話を土台に「常識を疑い自ら考える」場づくりを実践。地元住民と移住者、大人と子どもが交わったユニークなコミュニティが生まれている。

来年度も開催

令和2年度 共創デザインスタジオ
「ヒトカラ～hitocolor～イナン」(第3期)



	日時(13時～17時)	内容	場所
第1回	6月28日(日)	まちづくりファシリテーションを学ぶ	森のホテル もりのす
第2回	8月9日(日)	発明家的発想でアイデアを生む方法	保健福祉 センター
第3回	9月6日(日)	共創の地域づくりアイデアづくり	古屋敷ガーデン 中西邸
第4回	10月4日(日)	アイデアづくり3回転3回ひねり	交流センター とんぼら
第5回	10月25日(日)	ヒトカラココカラ会議	中山間地域研究 センター

■問合せ 総務課 電話76-2211

人が育つ、それが まちの財産に成る。

今、まちの財産である「人」への投資が始まっています。今月は、行政職員と住民と一緒に学ぶ人材育成の取り組みを紹介します。



地域づくりは人づくりから
住民一人一人の「このまちで何かしたい」という想いをカタチにし、笑顔あふれる暮らしを実現できる。そんなまちを住民と行政で共に創りたいと考えています。しかし、住民と行政の想いがずれ違っているということも少なくありません。
そこで今年度は「1座談会」と題して、暮らしの中の想いや情報を共有できる場をつくりました。このような対話の場が少しずつ広がっていくためには、場の空気づくりができる人が必要です。
例えば、耳を澄ませて人の話を聴けたり、無理のない問いかけがきたりする人。住民の想いをカタチにするために、こういった人材の育成がまちや行政に必要なのではないのでしょうか。

人が育つ土壌づくり
平成30年7月、飯南町は全国で人材育成に取り組み(一財)地域活性化センター(東京都日本橋)と「地方創生に向けた人材育成に関する連携協定」を締結しました。
令和2年3月には、広く多様なノウハウや知識を獲得し、横にネットワークを広げていく人材の育成と地域に暮らし一人一人が自分事としてまちに関われるきっかけをつくり、想いを共有できる対話の機会を創出するため「飯南町人材育成アクションプラン」を策定。
具体的取り組みとして、行政職員と住民が一緒になって学ぶ人材育成事業などを進めています。



飯南町人材育成アクションプラン
QRコード URL: <http://www.iinan.jp/information/news/671>

